

ギヨーム・デュファイ 《パドヴァの聖アントニウスのミサ》



Guillaume Dufay - Missa Sancti Antonii de Padua

2019年5月1日(水祝) 14:30開演 (14:00開場)

伊丹市立伊丹郷町館 重要文化財 旧岡田家住宅・酒蔵にて
(JR伊丹駅から徒歩約6分／阪急伊丹駅から徒歩約9分)

入場料) 前売 2,000円 当日 2,500円 (全席自由)

「大阪中世まつり」(4月27~29日開催) のコース参加者は割引前売券が購入できます。詳細はお問い合わせください。

主催) 伊丹市立伊丹郷町館 [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団／伊丹市]

企画) 坂本音楽スタジオ

WEB予約) <https://tiget.net/events/47607>

電話予約・問合せ) 伊丹市立伊丹郷町館 ☎072-772-5959

10:00-18:00 月曜休館 (祝休日の場合は翌日) 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28

※駐車場はございません。車でお越しの際は宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。

※会場は文化財のため空調設備がございません。調節のできる服装でお越しください。

演奏 レ・リュリヤーズ

ブリス・ラモンデンク

歌、ギテルヌ

佐々木ひろ子 歌

坂本卓也

ヴィエール (中世フィドル)



WEB予約



会場地図



— 中世からルネサンスへと移りゆくデュファイ —

2019年の伊丹郷町館古楽コンサートでは、15世紀にイタリアやフランスで活躍し、中世後期からルネサンス初期の代表的作曲家として知られるギヨーム・デュファイの作品をとりあげます。

プログラムのメインは《パドヴァの聖アントニウスのミサ》。近年になってデュファイの作品であることが判明したこの曲を、フランスから招いた中世音楽のスペシャリスト、ブリス・ラモンデンク氏が自身で写本から読み下した楽譜を用いて演奏します。

このほかに世俗曲（恋の歌）もいくつか演奏します。中世からルネサンスへと音楽の趣味が移りゆく、まさに最先端を担ったデュファイの作風の変化とともにお楽しみください。

演奏曲目（ギヨーム・デュファイ作曲）

《パドヴァの聖アントニウスのミサ》

バラード《私の心は殉教者のように痛む》《まこと隠れもない貴公子の名を讃え》

ロンドー《大きな報いを受ける下僕》《さらばラノワのよき酒》

演奏者のプロフィール



ブリス・ラモンデンク *Brice Ramondenc* (歌、ギテルヌ)

ギタリストとして音楽の勉強をはじめ、民族音楽からメタルロックまで幅広いスタイルに精通。モンペリエ大学にてG. クレマンの指導で音楽学学位を取得、中世音楽に傾倒する。器楽奏者、歌手としてB. レース、M. ペレス、D. ヴェラルの各氏らのもとで研鑽を積む。

2013年にヴォーカル・アンサンブル「Hortus Deliciarum」を立ち上げ、フランス国内で40回を超えるコンサートを実現。各地の中世フェスティヴァルで演奏している。

2014年よりパリ国立高等音楽院にてエクリチュールを専攻、R. ピカゾス氏のもとで中世の即興、記譜法、対位法を学ぶ。2017年より毎年来日、「大阪中世まつり」で中世音楽のメイン講師を務める。



佐々木ひろ子 *Sasaki Hiroko* (歌)

宮城県出身。現在は西日本を中心に宗教曲のソリスト等、古楽・アンサンブル分野での演奏活動を行う。エリザベト音大付属エリザベトシンガーズ正団員。World Youth Choir/Asia Youth choir日本代表。独自の身体テクニクを取り入れたボイストレーニングを各地で行い、様々な合唱団のボイストレーナーを務める。合唱コンクール全国大会金賞団体のボイスコーチを担当するなど、声の指導実績は1000人を超える。2019年8月30日(金)の夜に豊中市立文化芸術センターにてリサイタルを開催予定。

宮城教育大学生涯教育総合課程声楽卒業。仙台オペラ協会研究生修了。声楽を広瀬奈緒、高橋絵里、波多野睦美の各氏に、合唱指揮を松原千振氏に師事。

<http://www.sasakihiroko.com/>



坂本卓也 *Sakamoto Takuya* (ヴィエール (中世フィドル))

ヴィオラ、バロック・ヴァイオリンを大津睦、J.-Ph. ヴァッサーの各氏に師事。また、バロック・ヴァイオリンをL. v. ダール、E. ガッティ、A. タンピエーリの各氏に、中世音楽理論をルドン絢子氏に学ぶ。

ヴィエール(中世フィドル)、バロック/モダン/エレクトリック・ヴァイオリン、ヴィオラを自在に持ち替え、中世、初期バロック、クラシックからポピュラー曲、昭和歌謡まで、幅広く演奏活動を行っている。

管理人を務める「坂本音楽スタジオ」では、大人のアマチュア奏者や身体にトラブルを抱える演奏家のためのメソッドでの指導に力を入れているほか、関西で類を見ない中世音楽の理論講座やアンサンブル・レッスンを開講し、中世音楽がかかわるさまざまなイベントを企画している。日本中世フィドル協会大阪支部長。

<https://sakamochi.jp/>

大阪中世まつり

嗚呼、憧れの中世ヨーロッパ
遠く日本からの戀ひ焦がれる想いを胸に
ギヨーム・デュファイに傾倒する三日間



「大阪中世まつり」は、中世音楽の本格的なレッスンを中心とした、中世ヨーロッパ文化、ファンタジーを愛する方のための体験型イベントです。

- ・ブリス・ラモンデンク先生による中世音楽レッスン（デュファイのミサ曲、世俗曲）
- ・中世音楽の理論講座、読譜講座、15世紀のフランス語関連講座
- ・中世の弦楽器「モノコルド」を製作（木工）し、ガイド・ダレッツォの音律論を実践
- ・中世の頭衣「リリパイブ」（裁縫）、「冒険の書」（革細工）、「LARP剣」の製作
- ・ライヴ・アクション・ロールプレイング・ゲーム(LARP)の体験（初心者歓迎!）

開催は4月27日(土)～29日(月祝)、大阪市立大淀コミュニティセンターにて。一足早く中世ヨーロッパ文化に触れ、コンサートをさらに深く楽しみませんか？

お問い合わせ、お申し込みは、坂本音楽スタジオまでどうぞ！

(大阪中世まつりのコース参加者は、まつり会場でコンサートの割引前売券が購入できます。)

主催・運営 坂本音楽スタジオ <https://sakamoto-music-studio.jp/>

✉ sakamoto.music.studio.osaka@gmail.com

📱 @sakamotomusicst ☎ 090-4492-8765

